

## 入ったにぎわい市を終えて

恒例になっているにぎわい市が5月13日に開かれ、(津山・きびの会)も例年通り参加した。焼きそばを中心として、手づくりこんにゃく、野菜の苗、衣料品、コーヒーなどを用意した。皆さんそれぞれの分野で全力で取り組んでいた。



回数をかさねるにつれてお客様への対応もだんだん上手になってきてなんだか自信ができたようである。特にKさんの「歩き売り」は年季の入った商売人のお手本であった。また、お客さまのなかにはいつも協力してくださる方もいて楽しい会話も弾んでいた。だんだん(津山・きびの会)が知られるようになったと感じうれしい限りである。当日はあいにくの雨の中での取り組みであったが、今年は隣の出店が「から揚げ屋」さんで、若い人のグループが我が店に寄ってもらえる要因であったろうか。いずれにしても大変でした。みなさんご苦労様でした。参加者は15名と若干少なめであったが、。次回はそれぞれの工夫しながら参加できるよう頑張りましょう。



料理教室 (第12回トトロサロン)

6月23日参加待ってます

## 綿の実を育てる



小生は数年前から備中県民局経由で綿の種の提供をうけ毎年育てている。種を一日水に浸し5月上旬ごろ種をまき、約70~80センチくらい伸びたところで芯を止めことで分枝をうながす。しっかり肥料をやるのが大切で夏になると白や薄ピンクの何とも言えない美しい花が咲を咲かせる。秋後半になると茶色の殻から白く美しい綿花ができる。通学路に面しているので小学生などがその様子を興味津々と眺めて時に質問もする。綿についてはほとんど知らないようで、白い綿が糸になりやがて布になるというところが驚くことが多い。それにしてもあの小さな種が成長する過程を見ると植物の秘めたエネルギーに感心する。植物は正直で適切に対応すると必ず答えてくれる。その姿は昨今の責任逃れに走る世相に一石を投じられる。(草地)

### \*モズの親子

5月から6月ごろにかけて鳥のひなが誕生する。自宅の庭の木にモズが巣をつくっていたようでひなが一羽巣からおちていたのでかわいそうに思って玄関のそばに避難させてやった。すると突然2羽の親鳥がけたたましく声を出して襲ってきた。身の危険を感じるほどの迫力にたじたじであった。さいわいひなは無事巣に戻ったがその日は一日中親鳥にかんだった。子供を守る親鳥の執念を思い知らされた。



(草地)